

知っておいて損はない 日常診療で役に立つ **カンポウABC** Part 1

【講師】

浅羽 宏一 先生

近森病院（高知県）

総合診療部部長

高知大学医学部非常勤講師

平成28年

7月28日(木)

18:30～19:30

【演題】

わかりやすい漢方の考え方

～漢方用語を使わない漢方の理解の仕方～

平成28年

11月24日(木)

18:30～19:30

【場所】

佐賀大学医学部

臨床小講堂 1 (3113)

平成29年

1月19日(木)

18:30～19:30

参加費：100円（学生無料）軽食をご準備しております



われわれは西洋医学を学んでいますので、まずその立場からしっかりと評価する。その上で、西洋医学的に対応できない疾患や漢方が得意とする領域については漢方医学的に対応する。一定レベルを超えた医者が持つ武器として、これほど強力なものはありません。持っておいて決して損はないはずです。

一定レベルを超えた医師が持つ 武器として、漢方ほど強力なものはありません。

私の経験からこれは持って置いて
損はないという処方のお話をしていきます

講師：浅羽 宏一 先生 (近森病院総合診療部部长/ 高知大学医学部非常勤講師)



Profile

1965年 岩手県盛岡市 生まれ
1992年 高知医科大学医学部医学科卒業
1992年 高知医科大学付属病院第二内科研修医
1993年 近森病院内科
1998年 高知医科大学第二内科学 助手
2004年 高知県立安芸病院内科 内科医長
2006年 高知大学医学部付属病院総合診療部講師
2010年 愛媛大学医学部総合医学教育センター講師
2012年 十全総合病院内科勤務
高知大学医学部非常勤講師
2014年 十全総合病院内科内科部長
高知大学医学部非常勤講師
2015年 近森病院総合診療科部長
高知大学医学部非常勤講師 現在に至る

「漢方の専門用語は使わずに
漢方の入口のところの話をします」

学生たちに漢方を教えるとき、以前は陰陽虚実など漢方用語を使って説明していました。そうすると全く興味を示さないんですね……。だから学生たちが興味をもって、なおかつ理解しやすい説明の仕方を勉強したんです。

代表世話人：山下秀一（佐賀大学医学部附属病院 病院長 / 総合診療部教授）

世話人《五十音順》：

安西慶三（佐賀大学医学部肝臓糖尿病内分泌内科学教授）、尾崎岩太（佐賀大学医学部保健管理センター准教授）

小田康友（佐賀大学地域医療科学教育研究センター教授）、熊本栄一（佐賀大学医学部生理学分野教授）

栗山一道（医療法人素心庵 栗山医院 院長）、権藤久司（佐賀県医療センター好生館副館長）

阪本雄一郎（佐賀大学医学部救急医学教授）、佐藤英俊（佐賀大学医学部附属病院地域包括緩和ケア科診療教授）

副島英伸（佐賀大学医学部分子生命科学教授）、高崎光浩（佐賀大学医学部医療情報部准教授）

寺本憲功（佐賀大学医学部薬理学分野教授）、原英夫（佐賀大学医学部神経内科学教授）

平川奈緒美（佐賀大学医学部麻酔科蘇生科学准教授）、藤戸博（佐賀大学医学部）宮崎耕治（佐賀大学学長）

門司晃（佐賀大学医学部精神医学教授）、横山正俊（佐賀大学医学部産科婦人科学教授）

事務局：佐賀大学医学部地域医療科学教育研究センター 佐藤英俊